



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 9 / 2006 年 9 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第 9 号をお届けします。

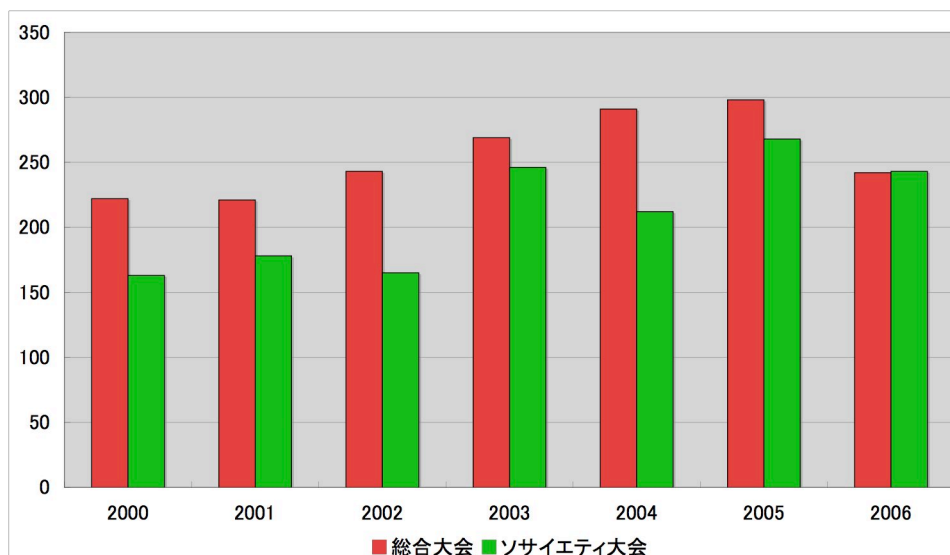
今回は、9 月 19 日（火） - 22 日（金）に金沢大学角間キャンパスで開催予定の 2006 年ソサイエティ大会と、

それに続く 9 月 23 日（土） - 24 日（日）に兼六園近くの石川厚生年金会館（ウェルシティ金沢）で開催予定の 2006 年アンテナ・伝搬、環境電磁工学、電磁界理論に関する日韓合同会議（KJJG-AP/EMCJ/EMT2006）についてお知らせします。

【1】2006 年ソサイエティ大会

金沢大学角間キャンパスにおいて初めてのソサイエティ大会が開かれたのは、10 年前の 1996 年でした。1996 年当時には、金沢大学工学部は小立野キャンパスにありましたが、今回、角間キャンパスに工学部のすべての学科が移転完了したのを機会に、10 年ぶりに角間キャンパスにおいて開催されます。前回のソサイエティ大会では、角間キャンパスへのバス便が十分でなく不満の声が多くありましたが、今回はどうでしょうか？

10 年前の 1996 年ソサイエティ大会における AP 研関連の発表は 165 件でした。しかし、今回は、243 件と約 1.5 倍に増加しており、下図に示すように、3 年前の新潟大で開かれた 2003 年ソサイエティ大会における発表件数にほぼ匹敵しています。



【2】AP 研 40 周年記念講演

今回のソサイエティ大会において、「アンテナ・伝播研究会 40 周年記念講演」と銘打って、9 月 19 日（火）の午後に、AP 研幹事経験者 12 名による記念講演を企画しました。講演者として、唐沢好男（電通大）、山口芳雄（新潟大）、菊間信良（名工大）、宇野亨（東京農工大）、堀俊和（福井大）、

宮下裕章（三菱電機）、牧野滋（三菱電機）、伊藤公一（千葉大）、長敬三（NTT ドコモ）、庄木裕樹（東芝）、高橋応明（千葉大）、新井宏之（横浜国大）の各氏（発表順、敬称略）をお願いしています。講演題目につきましては、ソサイエティ大会のプログラムをご覧ください。通信ソサイエティの一般講演の最初に掲載されています。各氏とも、各分野の専門家であり、発表に長けた方々ですので、興味深い話が期待できると考えています。是非、ご聴講のほどお願いいたします。

【3】 KJJJC-AP/EMCJ/EMT2006

2006年ソサイエティ大会に引き続いて、2006年アンテナ・伝搬、環境電磁工学、電磁界理論に関する日韓合同会議（KJJJC-AP/EMCJ/EMT2006）が、兼六園近くの石川厚生年金会館（ウェルシティ金沢）で2日間の日程で開催されます。KJJJCは今回で5回目であり、初めて日本で開催されます。今回の発表予定論文数は107件であり、参加者は120-150人を見込んでおります。このうち韓国からの参加者は55人を超える模様です。皆様のご参加をお待ちしています。詳細は、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.ieice.org/~emt/jpn/new/index.html>

【4】 AP 研副委員長の戯言

金沢といえば、石川門、兼六園、武家屋敷、忍者寺、犀川・浅野川、東山・主計町・石坂、香林坊・片町、利家とお松、室生犀星、泉鏡花、宝生流、九谷焼、蒔絵、加賀友禅、ズワイガニ・コウバコガニ、甘エビ、寒ブリ、かぶら寿し、ゴリ、等のキーワードが列挙されますが、やはり何と言っても「君とであった香林坊の・・・」、「加賀の女（ひと）」の世界ですね。そして金沢（石川）は、菊姫、手取川、宗玄等の「美酒」を抜いては語れません。それにしても、金沢・富山・福井というと、「北陸の冬のどんよりとした暗い空」のイメージが強いですが、秋はスカッとした気持ちの良い天候が続きます。是非、金沢の街の散策をお楽しみください。

今回は、新潟・朱鷺メッセでの8月AP研に出席しながらこれを書いています。まさしく自転車操業ですが。9月のAP研は日本電気（株）殿のご協力を頂き、NEC大橋会館で開催します。



<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 堀俊和（福井大学）

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org